



受賞作品

第6回 渡辺淳一文学賞

『透明な夜の香り』

千早 茜 // 著 (F チハ)

古い洋館でひっそりと営まれる、秘密のサロン。天才調香師・小川朔を訪ねて、謎を秘めた依頼人たちが集まり-。香りをめぐるドラマチックな長編小説。

2021年本屋大賞

『52ヘルツのクジラたち』

町田 そのこ // 著 (F マチ)

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる-

翻訳小説部門

『ザリガニの鳴くところ』

ディーリア・オーエンズ // 著 (933 オ)

家族に見捨てられながらも、広大な湿地でたったひとり生きる少女に、ある殺人の容疑がかかり…。みずみずしい自然に抱かれて生きる少女の成長と不審死事件が絡み合い、思いもよらぬ結末へと物語が動き出す。

ドラマ化作品

さまよう刃

出演: 竹野内豊, 石田ゆり子 ほか

『さまよう刃』

東野 圭吾 // 著 (F ヒガ)

不良少年たちに蹂躪され死体となった娘の復讐のために、父は仲間の一人を殺害し逃亡する。世間の考えは賛否が大きく分かれ、警察内部でも父親に対する同情論が密かに持ち上げる。はたして犯人を裁く権利は遺族にあるのか?

映画化作品

いのちの停車場

出演: 吉永百合子, 松坂桃李 ほか

『いのちの停車場』

南 杏子 // 著 (F ミナ)

東京の救命救急センターで働いていた62歳の医師・咲和子は、故郷の金沢に戻り訪問診療医になり、現場での様々な涙や喜びを通して在宅医療を学んでいく。一方、家庭では、自宅で死を待つだけとなった父から安楽死を望まれ…。

明日の食卓

出演: 菅野美穂, 高畑充希 ほか

『明日の食卓』

椰月 美智子 // 著 (F ヤズ)

同じ名前の男の子を育てる3人の母親たち。幸せだったはずの家庭が、些細なことがきっかけで崩れはじめる。無意識に子どもに向けてしまう苛立ち。3つの家庭の行き着く果ては…。

